

加藤 慎太郎 選手・福田 晃斗 選手の紹介

東京都江戸川区出身。江戸川区立第六葛西小学校時代に、地元のフレンドリー SC でサッカーを始めた後、三菱養和 SC 巣鴨ジュニアに所属を移した。学校が終わると近所の公園でサッカーを楽しんでから電車で30分以上かかる練習場へ向かい、21時に帰宅する日々を送っていた。

その後、区立西葛西中学校時代は三菱養和 SC 巣鴨ジュニアユースでプレー。中学2年生の時には3年生の試合にも出場していたが、当時抜擢してくれた加藤コーチには自信を与えてくれたことに感謝している。東京都選抜チームのキャプテンにも選ばれ、8ヵ国との国際試合に出場。アルゼンチンの同年代のチームの上手さに驚かされ、「いつか追い越したい」と強く思った。

都立板橋高校進学後も三菱養和 SC 巣鴨ユースでサッカー漬けの日々を送り、3年生時に初めて試合に出場。「弱い世代」と言われながらも、気力と一体感でプリンスリーグ3位に入りプレーオフ出場を果たした。プレーオフで決勝戦まで進んだことは今も仲間の中で語り草になっており、その時のGKと自分の2人が後にJリーグへ進んでいる。

専修大学進学後、2018年にはU-19日本代表および全日本大学選抜EASTに選出。2022年にブラウブリッツ秋田でプロキャリアをスタートしたが、出場機会が少なく悔しい日々を過ごした。翌年にはヴァンラーレ八戸に移籍し、そこでの石崎監督との出会いが転機となった。「ボールを奪いに行く」を志向するサッカーに取り組み、サッカー観が一変した。まるで生まれ変わったような感覚だった。

今シーズン途中に成長を求めて岐阜へ加入。8月30日のFC琉球戦以降スタメンとして出場し、失点の少ない試合で勝利に貢献している。これからの上位チームとの対戦にも油断せず、連勝を目指して戦い抜きますので、応援をよろしくお願いします。



写真：©Kaz Photography/FC GIFU

かとう しん たろう
加藤 慎太郎 選手(26歳)

ホームタウン応援大使
本拠市
ニックネーム
しん

20
DF

三重県四日市市出身。二人の兄は野球をしていたが、幼少時代に友人に誘われた影響でサッカーを始め、内部小学校時代まで内部リバーズFCでサッカーを楽しんだ。この時にサッカーに誘ってくれた友人に対しては、今もありがたく思っている。

内部中学校時代は名古屋グランパスU-15でプレーした。ここで、菅沢大我コーチから「フィジカル(体の使い方)は一瞬のことだが、サッカーは頭を使ってやるものだ」と指導を受けて以来、どうすればボールが奪えて、相手が嫌がるか等々の実践体験を積み重ねてきた。そういった経験が自分の成長の原点にあると感謝している。

高校は憧れの四日市中央工業高校のサッカー部に入部。大勢の部員の中で1年生からレギュラーに選ばれた。3年連続で全国大会に出場し、最高成績はベスト8。3年生時にはキャプテンも経験した。この全国大会で大勢の選手と知り合えたことが今も財産になっている。

その後、鹿児島県にある鹿児島体育大学に進学し、3年生時からJ1サガン鳥栖の特別指定選手に選ばれ、2015年に正式加入を果たした。

転機はプロ選手になって2年目。出場機会が少なく悔しい気持ちが出た中、必死に練習に励んだ。そんな中、カップ戦のメンバーに抜擢され、最高のパフォーマンスを発揮することができて嬉しかった。その直後にはリーグ戦のスターティングメンバーにも選ばれ、以後ずっとピッチの上で活躍してきた。

これまでのサッカー人生の中で、出場できないことに対しての不満、批判を口にする選手の姿を見てきたが、練習で自分を高めることに集中すれば、必ずチャンスは来ると思っている。

妻と2人の子どもは福岡県在住ですが、いずれは岐阜で一緒に住みたいと思っている。残りわずかの今シーズン、最後まで岐阜全域のファン、サポーター、パートナー企業、県市町村の皆さんに喜びを届けられるよう頑張ります。



写真：©Kaz Photography/FC GIFU

ふくだ あきと
福田 晃斗 選手(33歳)

ホームタウン応援大使
多治見市
ニックネーム
あきと

97
MF